

お知らせ

2006
1 月前半

カレンダー

- | | |
|---|---|
| 1 日
元旦早朝登山（市内各地区）
新春歩け歩け大会（6時～、石城山キャンプ場） | 8 日
成人のつどい（受付13時、14時～16時、市民ホール） |
| 2 月 | 9 月 |
| 3 火
健康相談・育児相談・1歳児お誕生相談・歯の健康相談（9時30分～11時、周防公民館） | 10 火
健康相談・育児相談・1歳児お誕生相談・歯の健康相談（9時30分～11時、周防公民館） |
| 4 水
献血（10時～16時、光市役所）
可燃ごみ収集（岩田・塩田・三輪・束荷地区） | 11 水
家族介護者教室（10時～12時、光富士白苑旧デイサービスセンター） |
| 5 木
人権相談（10時～15時、大和支所）
育児相談・1歳児お誕生相談・歯の健康相談（13時30分～15時、あいぱーく光）
光市小中学生科学作品展（29日まで、文化センター）
可燃ごみ収集（室積・光井・島田地区） | 12 木
人権相談（10時～15時、あいぱーく光）
こんなに簡単パソコン入門（13時30分～16時30分、生涯学習センター） |
| 6 金
消防出初式（9時30分～11時30分、市民ホール）
田中義一書・仏画展（2月5日まで、ふるさと郷土館）
可燃ごみ収集（浅江・三井・周防・上島田・中島田地区） | 13 金
献血（9時30分～11時30分、あいぱーく光 / 13時30分～16時、マックスパリュ浅江店）
こんなに簡単パソコン入門（13時30分～16時30分、生涯学習センター） |
| 7 土
七草粥づくり教室（9時30分～13時、周防の森ロッジ）
SPレコードコンサート（10時30分～11時30分、ふるさと郷土館） | 14 土
緑花ボランティア育成講習会（9時30分～12時、大和保育園） |
| | 15 日
光市駅伝競走大会（開会式9時15分～、10時・大和総合運動公園スタート） |

1月のごみ収集日（1月1日～31日）

地区	資源ごみ	埋立ごみ	可燃粗大ごみ
浅江（JR線路北側）	6日、23日	16日、30日	4日
浅江（JR線路南側）	10日、24日	17日、31日	4日
島田	10日、24日	17日、31日	25日
光井	4日、18日	11日、25日	25日
室積	5日、19日	12日、26日	11日
中島田・三井・上島田・周防	6日、20日	13日、27日	18日
岩田・塩田	新聞等5日、18日 ビン・缶等11日、25日 パットル H23日	16日、30日	19日
三輪・束荷	新聞等12日、26日 ビン・缶等5日、19日 パットル H23日	16日、30日	18日

毎月第1資源ごみの収集日に、ビン・缶などの資源ごみと一緒に小型家電品を回収します。分解しないで、そのままの形で出してください。



地域に伝わる伝統を一年でも長く守っていききたい

年末の風物詩ともいえる「もちつき」も、今では、機械でもちをつくことが多くなっています。そんな中、「小周防中郷もちつき保存会」の皆さんは、郷土の伝統を守り続けていこうと、いろいろなイベントで、昔ながらの石臼（いしうす）と杵（きね）を使い、もちつき唄「シヨンガエー節」に合わせてもちをつき実演を行っています。その保存会で、長年もちつき唄を歌い続けているのが会長の木村勝重さん。今回は、木村さんに活動を通して伝えていきたいこと、伝統の保存にかけたい思いなどをお聞きしました。



木村さんの節回しは、年を重ねるごとに、つやが出てきたそうです。

皆さんの息のあった杵の音が、リズムカルに響きます。



古い記憶をたどりながら

昔ながらのもちつきが影を潜める中、小周防中郷地区も例外ではありませぬ。木村さんは、「私の小さい頃は、既に古くからの形でのもちつきを見ることはありませんでした。しかし、父はもちつき唄だけは、唄っていましたね。」と当時を振り返ります。昭和54年、市の農業祭で、地域ごとに出し物を披露することになり、そこで、中郷地区の有志が集まり、古い記憶をたどりながら、伝統のもちつきを実演しました。その評判がよく、翌年には保存会を発足。地域に伝わってきた伝統の灯が見事よみがえったのです。

やるからには盛り上げたい

保存会は、「ひかり物産まつり」や「はばたけ周防っ子のつどい」、「周防小学校の総合的な学習の時間」等でもちつきを披露するなど、地域に根差した活動を続けています。「苦労もありますが、やるからには盛り上げたい。皆そついう意気込みで頑張っています。」と話す木村さん。つき上がったもちには、弾力があっておいしく、豊かな味わい。そこには、皆さんの強い思いが込められているようです。

もちつき唄を歌い続けて26年

木村勝重さん

子どもの頃から、父親が歌うもちつき唄「シヨンガエー節」を聞いて育つ。昭和55年、地区の有志とともに「光市小周防中郷もちつき保存会」を結成。結成当時からもちつき唄を歌い続ける。H13年から3代目会長。小周防在住、65歳。



自分たちが伝えていかなければ

「シヨンガエー節」は、重労働のもちつきを少しでも楽しくこなそうと歌われてきました。「復活を果たした地域の伝統ですが、自分たちが伝えていかなければ消えてしまう。後継者問題は深刻ですが、一年でも長く守っていききたい。」そう木村さんは話します。「今年じゃ豊年穂に穂が咲いて、路の小草に米がなる。」年を重ねることにつやが出てきたと言われる木村さんの節回し。木村さんの情熱とこだわりが、独特な節回しに乗り、私たちに改めて伝統の大切さを教えてくれます。

編集後記

もうすぐ今年も終わりですね。クリスマス、忘年会、お正月を迎える準備と、どこも師走ムードで、皆さんも忙しい思いをされているのではないのでしょうか。12月19日、民生委員の有志の皆さんで、あいぱーく光の玄関を飾る、門松作りが行われました。いつもは何気なく見ていた門松ですが、竹の切り口をよく見てください。作った方にお聞きしたのですが、竹の節が切り口の下端3分の1の辺りにくるように切り、「笑っている」ようにしてあるとのことでした。

「笑う角に福来たる」なんとも縁起がいいですよ。来年もこの竹のように、笑顔で過ごせる良い年になりますように！

